

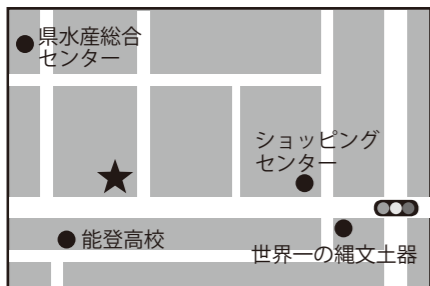
ハローワークが

# 求職をサポート



輪島公共職業安定所能登出張所  
(ハローワーク能登)

能登町字宇出津新港3-2-2 ☎ 62-1242



会社や事業主からの求人に対して、求職者をあつせんする国の機関がハローワークと呼ばれる公共職業安定所。今回、珠洲市と能登町を管轄する「ハローワーク能登」の村井郁祥所長に、地域の雇用情勢やサポート体制などを聞いた。

## 能登町の雇用情勢は いかがでしょうか

不況の影響で非常に厳しい状況です。特に昨年1月から急激に悪くなりました。5月の有効求人倍率は過去最悪の0・21。6月以降は0・3前後が続いています。最新のデータである11月の県内平均は0・47ですが、金沢と加賀が0・6以上と高く、小松と能登が共に0・31と低い倍率です。

## ハローワークのサポートは どのようなものですか

ハローワーク能登では新しい

# 能登町の 雇用レポート



働きたくても仕事がない。  
平成20年9月のリーマンショック以降、世界は「百年に一度」と言われるほどの経済危機に直面している。日本でも派遣社員、期間従業員など非正規労働者の契約打ち切りが社会問題となった。  
21年7月の完全失業率<sup>※2</sup>は5・7%と戦後最悪を記録。ハローワーク能登管内の有効求人倍率<sup>※3</sup>は21年5月に過去最悪の0・21まで落ち込んだ。厳しい雇用情勢は現在も続いている。  
求職者をサポートするため、雇用情勢を少しでも改善するために、ハローワークや町は、全力で支援事業に取り組んでいる。  
今月は町の雇用をレポートする。

求人の情報が入るたびに、その職に合いそうな求職者に情報を提供して求職と求人のマッチングを行っています。  
失業した人に失業給付を行う雇用保険の事務もハローワークが行います。  
事業主向けのサービスでは、雇用した場合や起業した場合の各種助成金や奨励金をご案内しています。  
転職希望者向けの訓練もあつせんしています。松波にある県立能登産業技術専門校には、造園科、建築科、OA科、情報ビジネス科があり、半年間の訓練を受けることができます。現在も53人が訓練を受けています。

## 新卒者やUターン希望者の 就職状況はどうでしょうか

平成21年12月末現在で、22年3月高校卒業予定者のうち、公務員や縁故採用を除く就職希望者は101人。内定率は95%です。管内(珠洲市・能登町)の求人数は35で、約30人が地元で就職を予定しています。  
近年の傾向としては県外への就職が減って、金沢と地元が増



えています。  
20年度のUターン求職者の数は、能登町で45人でした。年代別に見ると、40代が少なくなるとい以外、各年代同じような人数となっています。就職した人は22人で、若い人は比較的就職できていますが、中高年層は厳しい状況となっています。

## ハローワーク能登のモットー は何でしょうか

「懇切・公正・迅速」。すべてのハローワークが掲げるモットーです。  
ここに来所される人には、ハローワーク能登が持っているサービスを全部提供して、満足してもらいたいと考えています。職員一同、皆さんが気兼ねなく利用できるように、相手の立場に立つて対応するよう心掛けています。

珠洲市・能登町の求人求職状況 (ハローワーク能登)

平成21年	新規求人数 (前年度比)	有効求人数 (前年度比)	新規求職者数 (前年度比)	有効求職者数 (前年度比)	就職者数 (前年度比)	有効求人倍率 (前年度比)	石川	全国
4月	74 (▲30)	215 (▲78)	295 (19)	898 (96)	61 (▲3)	0.24 (▲0.13)	0.53	0.46
5月	55 (▲9)	178 (▲69)	168 (13)	849 (159)	40 (▲3)	0.21 (▲0.15)	0.50	0.44
6月	134 (16)	204 (▲30)	118 (16)	757 (186)	41 (▲6)	0.27 (▲0.14)	0.48	0.43
7月	71 (11)	219 (12)	119 (▲16)	700 (156)	83 (35)	0.31 (▲0.07)	0.47	0.43
8月	90 (20)	196 (▲9)	141 (42)	696 (156)	54 (10)	0.28 (▲0.10)	0.45	0.42
9月	151 (19)	230 (▲2)	149 (▲24)	708 (113)	93 (34)	0.32 (▲0.07)	0.47	0.43
10月	81 (▲4)	216 (▲29)	254 (78)	763 (128)	175 (31)	0.28 (▲0.11)	0.48	0.44
11月	72 (16)	198 (▲14)	132 (30)	637 (143)	65 (0)	0.31 (▲0.12)	0.47	0.45
計	728 (39)	1,656 (▲219)	1,376 158	6,008 (1,137)	612 98	—	—	—

### 【用語解説】

※1リーマンショック・アメリカの名門証券会社で投資銀行でもあるリーマン・ブラザーズが20年9月15日に破綻し、世界の金融市場に与えた衝撃のこと。

※2完全失業率…総務省統計局の労働力調査が全国の約4万世帯を標本調査して、毎月発表する統計の指標。

完全失業率(%) = 完全失業者 ÷ 労働力人口 × 100

※3求人倍率…1人の求職者に対してどれだけの求人があるかを示す指標。

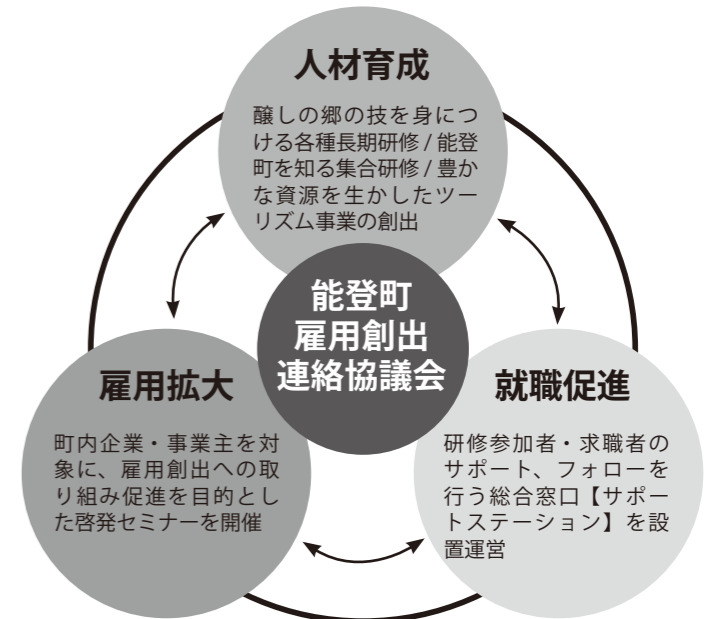
「有効求人倍率」と「新規求人倍率」があり、公共職業安定所で扱う求職者数および求人数のデータから計算される。

「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

有効求人倍率は、動きが安定し方向が読みとりやすく、景気の動向とほぼ一致した動きを示す。一般的に都市部では高く、地方では低い傾向がある。

# 就職をサポート

能登町での就職・起業をサポートするため平成20年に設置された能登町雇用創出連絡協議会。「醸しの郷」をキーワードにした長期研修、能登町を知り事業主と求職者のネットワークを広げる集合研修、新規事業開発研修などを行っている。



“醸しの郷”の推進と生活サポートによる雇用創出事業

## 国の支援を受けて雇用創出事業を展開

雇用創出に向けた意欲が高い地域を国（厚生労働省）が支援する地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）に採択された能登町の「醸しの郷」の推進と生活サポートによる雇用創出事業

業」は、①人材育成②雇用拡大③就職促進の3つを柱とする計画で、平成20年から3年計画で実施されている。

事業を実施する能登町雇用創出連絡協議会（以下協議会）は、交流や情報交換を目的に、町の商工会をはじめ農林水産業関係各種団体・建設産業連絡協会・

金融機関などで構成された団体。役場内にサポートステーションを設置し、研修の実施、仕事や暮らしに関する相談や問い合わせに対応しており、国の許可を得て職業紹介も可能だ。

就職・定住を支援し醸しの郷である能登町で新しい暮らしをつくり出している。

## 雇用が厳しい時代に求められる人材育成を

珠洲市と能登町を管轄しているハローワーク能登が公表している管内最新（11月）の有効求人倍率は0.31。県内で最も就職が厳しい地域で新たに働くためには、企業が求める人材として求職者の能力向上、能登の文化・風土を生かした新しいビジネスを起こすなど人材育成が不可欠だ。

協議会では、能登で受け継がれてきた技やもてなしの心を実地で学ぶことができる「長期研修」、能登の文化を知り、事業主と就職希望者のネットワークを広げる「集合研修」、エコツーリズム研修や森林療法研修などの「新規事業開発研修」を実施している。

さらに、協議会の「職業相談員」3人が地域の企業や事業体を足しげくまわり、雇用の情報収集と求職者とのマッチングを行っている。

20年7月から現在まで、研修やマッチングで新たに就職した人は45人。当初の計画を上回る成果を上げている。

## 町と連携して厳しい情勢に対処

20年9月のリーマンショック以降、雇用情勢はさらに厳しさを増しており、すぐに収入が必要な地域の求職者は、長期研修を受けたくても受けられないというケースもある。このため、町が行う緊急雇用対策事業によって、6カ月未満の就業を確保したりもしている。

40日の長期研修を終えて、そのまま研修先に就職した人や、研修を生かして就職を決めた人がたくさんいる。自分のやりたいこと、新しい自分を発見するために、この研修が生かされている。

協議会の活動のおかげで、この2年間で能登町にはエコツアーなど新規産業による新しい雇用の形も芽吹いてきた。地域の実情やニーズに合わせたサポートを実施し雇用創造活動を継続していくことは大切なことだ。

能登町雇用創出連絡協議会（サポートステーション）

能登庁舎2階ふるさと振興課内

☎62-4154

## 新規事業開発研修



能登町の豊かな自然を生かしたエコツーリズム研修と森林療法の研修。新規事業を創出する担い手の育成が目的。

### 【研修内容】

#### ①エコツーリズム研修

日程・時間 / 3日間、計20時間  
内容 / エコツーリズム入門、マーケティング、プログラム作り、インタープリター（自然の仲介者となって自然解説を行う人）の仕事についてなど

#### ②森林療法研修

時間 / 計6時間  
内容 / フィールド調査、森林療法の要件・実際、スタッフの役割

【対象】 事業開発希望者

【参加費】 無料

## 事業主と求職者をつなげる集合研修



月に1回程度、働く場である能登町の歴史や文化、産業などについて理解。

### 【研修内容】

（21年度実施されたテーマ）

- ・素朴な能登の食材のもてなし
- ・温かき能登の人々と生きて
- ・能登でつながる人と素材
- ・能登はいいところ
- ・西を示す木をもって
- ・能登を拓く
- ・民有歴史文化資産の保存

### 【対象】

地域求職者、長期研修参加者

【研修時間】 2時間

【参加費】 無料

※内容や講師、会場は毎回変わりますのでお問い合わせください。

## 町の特徴を生かした職業の長期研修



能登町が有する伝統的技術とおもてなしの心を長期研修を通じて伝授。

### 【研修内容】

- ・能登杜氏育成研修
- ・農業法人での農業研修
- ・森林組合での林業研修
- ・民宿などでの宿泊業研修
- ・そば屋経営や加工品づくり研修
- ・かやぶき職人の育成研修

### 【対象】

地域求職者、U・J・Iターン希望者

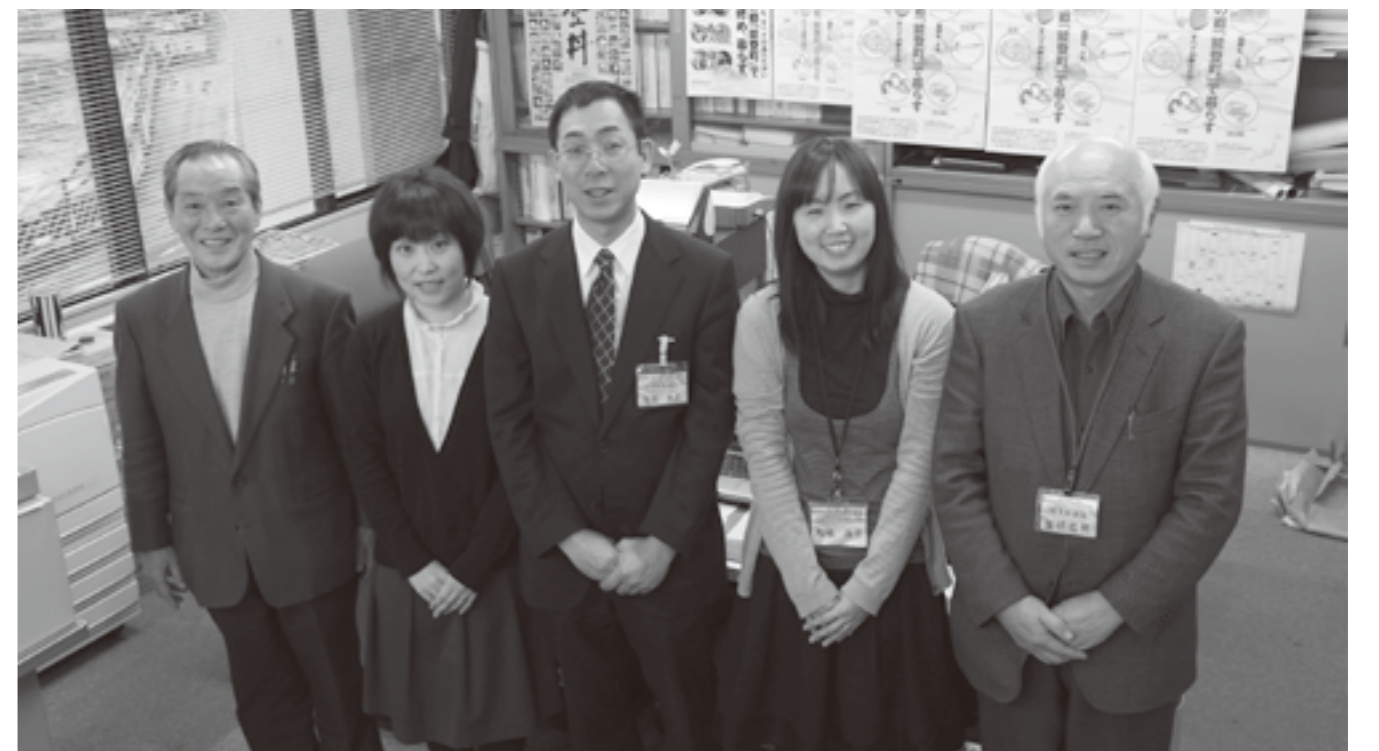
### 【研修期間】

1日4時間×40日間

※能登杜氏育成研修は能登杜氏組合が主催する研究会や講習会への参加、意見交換会など

【参加費】 無料

※滞在費実費、宿泊用古民家あり



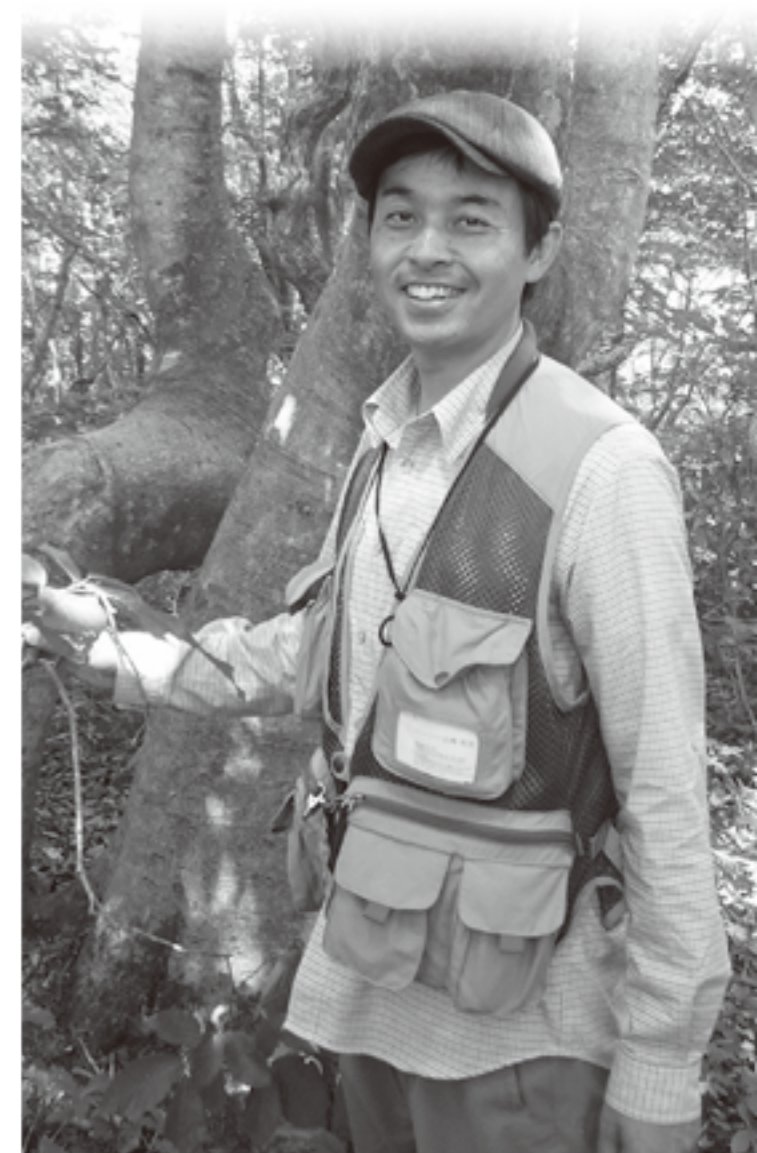
写真左から上田吉森さん（職業相談員）、藪下恭子さん（同）、雨池孝之さん（事業推進員）、和嶋良子さん（同）、廣橋義勇さん（職業相談員）

## 本物の能登の良さを伝える。都会から来た自分にしかできないことを、鉢伏山で実現したい。

エコツーリズム研修を受講し能登町に移住した

### 山崎昭宏 さん (42歳)

埼玉県出身・笹川在住



自分の残りの半生をかけてやりたいことが、能登にあると直感しました」

2009年3月、埼玉県から能登町に移住した山崎昭宏さん。家庭用ガラス食器のエンジニアとして世界を飛び回る仕事から、鉢伏山の自然を生かしたエコツアーの事業化を目指し、当地内に事務所を構えた企画会社、グルーヴィーの社員となった。

「東京での会社員時代、ガラス食器という生活に密着した仕事をしてきた山崎さんのテーマは『暮らし』。世界中の暮らしを見つめる中で、『日本の田舎』には世界レベルの価値があつて、もっと発信されるべき」と考えるようになった。

「大宮生まれのわたしには『田舎』がありませんでした。そんなわたしが妻と知り合い、初めて『田舎』ができました。それが『能登』でした」  
妻の香奈江さんは旧富来町出身。知り合ってから毎年能登

に帰省するようになった。「能登には都会で崩壊している地域のコミュニティーが残る。優しさやユーモアにあふれた会話がりました。新鮮な食材とおいしい料理がありました。風景に目をやると、黒い瓦と白い壁の家が並んでいて、山も海もありました。能登の良さ

を五感で感じて、ここは日本の田舎の良さが大部分残されている地域だと確信しました」  
そんな山崎さんに転機が訪れる。08年8月、民宿さんなみ(矢波)に宿泊した東京の友人の紹介でグルーヴィーとつながった。

11月には町雇用創出連絡協議会のエコツーリズム研修を受講。能登への移住を決意した。「研修では、実際にエコツアーを事業として成り立たせている人の話が聞けました。概念ではなく、本物の話が聞けてとても参考になりました」と研修を振り返る。

能登に移住してから10カ月。この間、鉢伏山の整備をしながらツアープログラムを試行錯誤してきた。  
09年5月には森林療法の研修にも参加。「森林療法はエコツアーの付加価値を高める柱の一

つになります」と話す。鉢伏山のエコツアーは、本年春から本格的な募集を始める予定だという。

「課題はたくさんあります。お客さんや地元の人に教えてもらい、育ててもらいながら、プロとしての自覚を持ってお客さんをおもてなしたい。ゆつたりと過ごしていただきたいのです。この仕事には終わりも、完成形もありませんが、今年一年が勝負だと思っています」  
動き始めた能登のエコツーリズム。その第一人者として、山崎さんの挑戦が始まる。

# 官民が協力して 定住をサポート

「能登町で暮らす」。そのためには空き家情報の提供は欠かせない。町は昨年12月、インターネット上に「能登町ふるさと空き家情報」を公開。管理運営を専門家である能登町宅地建物取引業組合が行う。行政と民間が協力して定住サポートを行う体制が整った。



## 官と民の協力で安心サポートを実現

町が空き家情報を収集し、所有者から登録申請のあった物件について①調査②ホームページでの公開③問い合わせ対応④契約のサポートなどを宅地建物取引業の免許を持ったわたしたちが行います。

従来は町が独自に収集した古民家情報を数件公開するだけで、あとは当事者同士のやりとりでした。これではトラブルも多くなってしまう。町は能登町への移住・定住を促進するために空き家情報を充実させたい。しかし、法律(宅



能登町宅地建物取引業組合  
甲斐澄雄 会長

地建物取引業法)の壁もあってできることには限度がある。それなら町内の不動産業者と協力してできないか、ということ。町と協議を重ねてきました。

わたしたちには宅建業法に基づく業務のノウハウがあり、行政には調査に必要な情報があります。官民が協力することで物件調査や資料作成がスムーズにでき、お客さんにも行政や専門家が間に入っているという安心感を与えられます。お互いにメリットがある体制であり、ほかの自治体にも注目されています。

## 「能登町で暮らす」魅力を伝えられるか

1月18日現在までに、18件の物件調査を行いました。そのうちホームページでの公開が11件。契約成立は1件です。

ホームページのアクセス数は一日に千件以上あります。来年度中には30件の登録を目指しています。

課題は、いかに能登町を選んでもらうか。能登で暮らすことに都会の人は魅力を感じます。当たり前だと思っている「能登町で暮らす」という魅力を、いかに伝えることができるか。例えば、数カ月住んでもらって

能登町での暮らしを体感してもらおう「チョイ貸し」も、一つの方法として検討しています。

あとは古民家をいかに再生できるかということです。空き家を利用して商売をしたいという場合には改装が必要になってきます。建築士などと連携して、古民家再生の良い提案ができるよう考えています。  
町もいろいろなサポートを検討しています。今後も町と協議を重ねながら「どうすれば能登町暮らしをサポートできるか」を試行錯誤していきたいと思っています。



街の駅ぽっぽ家

商工会 宇出津駅前バス停

★ 能登町宅地建物取引業組合  
Address: 能登町宇出津字 38-4 (能登不動産内)  
Tel: 62-2022  
URL: <http://www.notolife.com>  
E-mail: [info@notolife.com](mailto:info@notolife.com)

能登町宅地建物取引業組合は、能登町に事業所登録を行っている宅地建物取引業者でつくる組合で、能登町から「能登町ふるさと空き家情報」管理業務を委託されている団体です。